その本はそこに　読書案内 38　～ 日本住宅の歴史と魅力 ～

図説 日本住宅史

著　太田博太郎　❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

❖この本は同じ著者の「日本建築史序説」では書ききれなかった、日本住宅史の概説となっています。この本は日本住宅の歴史をできるだけわかりやすく説くことを目的として、図をできるだけ多く、大きく入れ、本文と同じページに載せて、あちこちページを繰らなくてすむようにしてあります。昔の住宅がどのような形のものであったか、各時代の住宅の姿を載せて、補足として日本住宅の変遷を、起源・平面・装飾・技術の四項目に分けて概説してくれています。

❖夏は水辺に近づき、涼をとったり、風をながしたり。冬は火があり、服を着こみ、ゆたんぽお風呂、銭湯もあったんですかね。遺構は少なく、銅鐸や埴輪、絵巻、屏風絵、文学の挿絵などの貴重さを感じました。

❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖